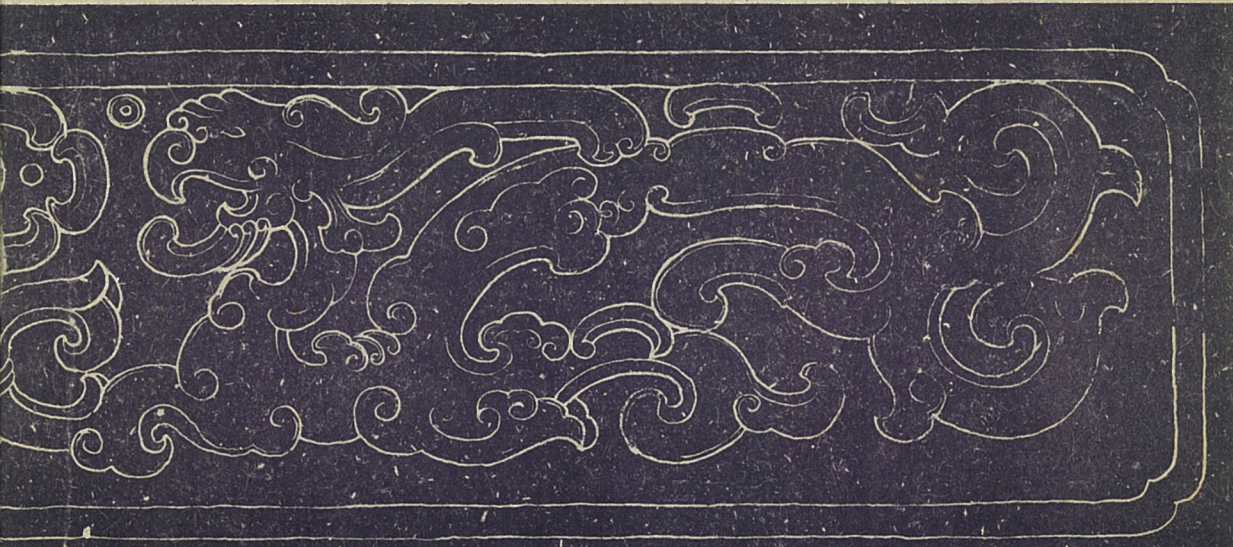


滿洲建築雜誌

第二十四卷 第一號



二 龍 北京・大和印刷社・電話 4757 宛

億兆維一心大東亞之春
 國民住宅(日系適應住居)設計懸賞募集
 審査後記(審査員ノ一員トシテ)
 國民住宅設計所感
 作者の言葉
 作者の言葉
 自作案に對する感想
 疊無し住宅から最小限住宅へ
 孤形床版に就いて
 回顧
 聖戰下建築技術者の覺悟
 熱河喇嘛廟
 ベルリン空襲の話を聽へ
 空襲危険率



1

社 法 人 滿 洲 建 築 協 會



マグネシヤ建材製品各種

マグネシア瓦・マグネシア板・マグネシア柱・
マグネシア防火用水槽・家庭用品各種

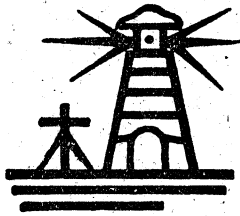
材質……弊社多年ノ試験研究ノ結果獨特ノ配合及加工ニ依リ防水、防火、保
温、防音性ヲ保持セシメタルマグネシア製品ナリ。

特性……「セメント」製品ニ比シ、強靱弾力性大ニシテ、輕量然モ吸水率小ナ
レバ冬期結氷ニ對スル耐久力大ナリ。

日滿建材工業株式會社

本社 大連市常盤町3 永喜ビル 電話 { 3-6309
3-1193
工場 大連市寺兒溝 14 番地 電話 6-2407

燈臺印



諸官廳會社
指 定 品

重要取扱品

建 具 金 物 製 作 一 般
各 種 螺 旋 類 製 作
機 械 工 具
土 農 機 具
工 匠 具

建具金物は
燈臺印の
新型製品
御使用を。



滿洲金物株式會社

大連市若狹町4番地



滿洲金物商事株式會社

本社・新京特別市豊樂路134號
支店・奉天市大和區千代田通37號



時 報

建築物戰時規格設定要綱(案)

第1方 針

現下決戦様相の緊迫化に即應し資材、勞力其他の可及的節用を圖ると共に建設能力の效率的活用をなす爲め建築物戰時規格を設定之が實施に關する有效適切なる行政措置と相俟つて戰爭目的完遂に寄與せんとす

第2要 領

1、基本事項

- (1) 資材の效率的利用に務め、臨機現地資材の活用及代用資材の工夫生産を考究するものとす
- (2) 規格種別は最少限にとどむると共に形式及構造の單純化合理化を圖るものとす
- (3) 規格基準の設定に困る建築物の適應性の低減、設計上安全率の低下及耐久命數の短縮等に對しては充分なる措置を講ずるものとす
- (4) 保健、生産確保、防空諸施策等戰時下重要なる目的に適應する如く充分なる考慮を拂ふものとす
- (5) 特殊建築物にして必要已むを得ざるもの他は設計、工法、資材の全てに亘り本要綱に準據せしむるものとす

2、規格作成基準

- (1) 平家建を原則とし建設地域の條件に依り例外的に二階建以上をも考慮すべきも特に既存公共施設の活用を圖るものとす
- (2) 経間の統一及間仕切の構造活用を圖るものとす
廊下を必要とする建築物にありても基準経間を變更することなく間仕切を構造的に活用し片側廊下は屋根葺下しとなすものとす
- (3) 壁體は建設地の性格並に資材需給狀況に應じ煉瓦造、土坯子造、炭灰煉瓦造、石造木造等を適宜考慮す外壁煉瓦造の場合は煉瓦積化粧目地仕上とす
- (4) 土間、床、雜工作物、に就ては「セメント」の使用を制限し他の代替材を使用ものとする
- (5) 雜作、小屋組、窓、出入口及建具は規格型に依り且極力その種類を限定するものとす
- (6) 開口部は特殊の場合を除き迫持を以てし鐵骨又は鐵筋「コンクリート」の使用を避くるものとす
- (7) 室内仕上程度を可及的低下せしむるものとす
- (8) 鐵材、非鐵金屬に就ては努めて代替材を用ふるものとす
- (9) 採煖設備は左に依るものとす
 - イ 一般に「ペーチカ」に依るも醫療施設、學校、獨身寮等は可及的集中煖房に依るものとす
 - ロ 住宅は可及的「ペーチカ」又は炕とす
- (10) 住宅に就いては滿洲風土に適應する様式を考究し別途定むる規格型を基準となすものとす
- (11) 浴場は一住宅群となす場合は可及的共同浴場となす
- (12) 電燈設備は極力露出配線とし共用燈の使用を計畫するものとす

第3措 置

所要の法令の制限緩和をなすものとす

滿洲建築雜誌 第24卷 第1號

昭和19年1月號

目次

本 文

- 億兆維一心大東亞之春……………岡 大 路…(1)
- 國民住宅(日系適應住居)設計懸賞
- 募集審査後記(審査員の一員として)……………莊 原 信 一…(2)
- 國民住宅設計所感……………田 部 井 泰 輔…(3)
- 作者の言葉……………小 野 作 治…(5)
- 作者の言葉……………阿 部 繁 雄…(7)
- 自作案に對する感想……………菅 哲 夫…(8)
- 疊無し住宅から最小限住宅へ……………郡 菊 夫…(9)
- 弧形床版に就いて……………内 藤 資 忠…(11)
- 經 緯
- 回顧……………藥 師 神 賢 一…(14)
- 聖戰下建築技術者の覺悟……………佐 々 木 俊 夫…(14)
- 新年に際して……………宍 道 七 郎…(15)
- 熱河喇嘛廟……………島 崎 一 三…(16)
- ペルリン空襲の話を聴く……………新京建築分科會…(24)
- 空襲危險率……………伊 藤 甫…(26)

卷 頭 圖 譜

仙 鶴

國民住宅設計懸賞入選入賞圖案



仙鶴

熱河·羅漢堂配殿天井